

第2次郡上市総合計画

後期基本計画の実施に向けて（第5回）

みんなで考え、みんなで作る郡上
～ずっと郡上 もっと郡上～

10年間のまちづくりの指針となる第2次郡上市総合計画（平成28年度～令和7年度）の後期基本計画（令和3年度～令和7年度）の内容を市民のみなさんに知っていただくため、各部署の取組みをシリーズで紹介します。第5回目は消防本部と八幡・大和・白鳥地域の取組みです。

消防本部の主な取組み

暮らしの中の安全・安心を守ります

【基本目標2 方針3】

●防災体制の整備

取組みの必要性 ⇒ 人口の減少や高齢化などにより地域防災の担い手不足が進行する中、災害に対応可能な組織と人員など実効性のある防災体制の確保が重要となります。

消防団、常備消防の強化・充実

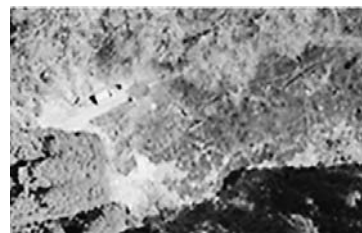
緊急通報を受信する高機能消防指令センターの機能保持に努め、職員の資質の向上と、計画的な消防資器材を整備するとともに、導入したドローンを使用し情報収集など有効活用を図ります。地域防災力の要である消防団は、地域防災力を低下させないよう組織の再編と処遇改善を図ります。

●市民の安全対策の推進

取組みの必要性 ⇒ 地震、風水害、火災など災害に対する備え、対策は減災につながります。市民一人ひとりの防火防災意識、自助・共助の意識の向上が求められます。

火災対策

一般住宅への住宅用火災警報器設置義務化から10年が経過しています。「10年たったら取りかえる」を積極的に広報し、火災の早期発見、被害軽減につながる住宅用火災警報器の維持管理と設置推進を図ります。



火災現場写真
(上空130mドローン撮影)

八幡地域の主な取組み

歴史と伝統を守り 互いに支え合う住民主体の地域づくりを進めます
～水とおどりと心のふるさと郡上八幡～

【基本目標6】

●魅力的で安全なまちづくり

取組みの必要性 ⇒ 現代まで継承されてきた町並みや景観・文化を未来に引き継いでいくために、安全性の確保、保全や担い手づくりに取り組む必要があります。

空き家等の有効活用と観光・文化資源継承のための担い手育成

歴史的な町並みや景観の維持・保全のため、空き家・空き地の有効活用に対する支援を行います。また、文化資源等継承のため、自治会や学校等と連携した担い手育成により、まちの活性化を図ります。

●地域資源を活かした産業振興

取組みの必要性 ⇒ コロナ禍による外国人観光客や団体客の減少等社会環境の変化に柔軟に対応した誘客体制を整備する必要があります。また、地域経済の活性化のため、雇用の場の創出や生産力を高める必要があります。

交流人口拡大と誘客戦略の構築

郡上八幡城をはじめとした公共施設の相互連携や地域資源を活用したマイクロツーリズム・グリーンツーリズム等の推進により誘客促進を行うとともに、伝統的な産業や地域資源を活かした新たな商品開発の支援により、地域経済の活性化を図ります。



郡上八幡 町屋敷越前屋での
イベントの様子

大和地域の主な取組み

誇り高きところを育み 人の流れを起こし 産業に結びつく地域づくりを進めます
～みんながつながり 広がる古今伝授の里「大和」～ 【基本目標 6】

●古今伝授の里づくりと担い手づくり

取組みの必要性 ⇒ 「歌のまち」としてのイメージが定着し、交流人口の増加につながっているものの、地域活性化につながる取組みは十分とは言えず、加えて少子高齢化に伴う人口減少により、次世代の地域づくりの担い手も減少し、地域力の低下が懸念されます。

古今伝授の里づくりを支える人材の育成、短歌を通じた世代間交流

郡上東氏800年・古今伝授550年を契機に、東氏の歴史・文化遺産を検証し、周知や活用につなげ、個性あるまちの魅力を高め、その効果が産業にも結び付く取組みを進めるとともに、古今伝授の里づくりを支える人材を育成します。

●大和地域ブランドの磨き上げ

取組みの必要性 ⇒ 観光入込客が伸び悩み、地域資源を活かしきれていない一方、外資系ホテルが進出したことを契機として、地域資源の活用、多様化する来訪客の受入体制を整備する必要があります。

地域資源を活用した観光集客力の強化・発信

食（どぶろく、ジビエ等）をテーマとしたイベントを開催します。また、観光案内、情報通信環境を充実させ、大和の食、文化の情報を発信します。



どぶろくまつりの様子

白鳥地域の主な取組み

地域資源を活用し 市民協働によるいつまでも住みたいと思う地域づくりを進めます
～白山文化の里「しるとり」～ 【基本目標 6】

●道路網の有効活用によるまちづくり

取組みの必要性 ⇒ 交通の結節点として「ヒト」「モノ」の交流の増加が見込まれる中、防災拠点・物流拠点の可能性調査や観光客等の集客につながる取組みが必要です。

「ヒト」・「モノ」の交流拡大

交通の結節点としての優位性を活かした防災拠点・物流拠点の整備に向けた取組みや、観光プロモーション等により交流人口の拡大を推進します。

●白山文化を活用した市民協働による地域の魅力向上

取組みの必要性 ⇒ 白山信仰に関する歴史文化や白鳥おどりをはじめとする地域資源の魅力を住民自らが理解し、その魅力を発信していく取組みが必要です。

地域資源の魅力発信と継承

白山信仰にまつわる地域資源の魅力を住民と一体となって学び、継承していく場の創出と、これまで以上に発信していくための観光ガイドの養成を行います。



白鳥の拝殿踊りの様子